

発行 (社)日本経営士会 千葉支部 <http://keieishi-chiba.org/>
 支部長 西村 豊 〒275-0022 習志野市香澄5丁目1-17
 事務局 副支部長 鈴木伸一 編集者 中野周行

平成25年11月30日発行

第95号

「アベノミクス」効果なのか、市況は徐々に明るさを取り戻しつつあります。円安効果により、日本国の経常収支も近々の4半期では黒字になる所まで回復しています。今年の冬のボーナスも久しぶりの大幅なアップが期待されています。株価も本支部報執筆中の11月後半には15,000円台を大幅に越えました。一方で韓国、中国との歴史認識問題や領土問題ではその溝が増々広がり、收拾困難な状況に陥っています。さらに、来年には消費税率の大幅な引き上げも予定されています。ともあれ、2014年にかけて日本の経済の復活と平和を願うばかりです。

千葉支部 忘年会開催案内《12月14日(土) PM17:00~》

千葉支部の忘年会を下記要領で執り行います。会員の皆様、ふるってご参加ください。

当日は15:00から、支部各研究会の報告等ございます。こちらにもぜひご参加願います。

尚、忘年会の参加可否に関してはメール、もしくは本支部報最終項の忘年会の参加可否のフォームに記載の上、FAX もしくはメールにてお知らせください。

忘年会日時

平成25年12月14日(土)

17:00~18:30

忘年会場所

美食厨房白木屋 船橋南口駅前店

電話:047-423-0988

船橋市本町4丁目41-25 快美壺番館2

京成船橋駅の高架を越え更に直進



ステージ船橋ビルの6階

参加申し込み期限

12月9日(月)までに下記宛先までご連絡ください。

参加申し込み先(申し込み期限 12月10日)

鈴木伸一会員まで、下記のいずれかの方法でお知らせください。

1. メール shin_suzuki@nifty.com
2. FAX 04-7133-1303 (本支部報最終項にフォームがあります)

第 47 回 経営士全国研究会議・横浜大会

第47回全国研・横浜大会が、平成25年10月6日(日)、7日(月)に横浜グランドインターコンチネンタルホテル・横浜国際平和会議場で開催されました。横浜での開催は17年ぶりで300名の参加を得て盛大に執り行われました。

横浜大会は、包括テーマ「イノベーション志向で中小企業経営支援」のもと、企業の経営革新の強力な推進役として強く求められている経営士の役割を再確認すると共に、2013年度の中小企業経営支援に関する研究成果が発表されました。また、2つの特別講演とビジネス・イノベーション・アワード表彰式が執り行われました。

特別講演Ⅰ

『成長戦略は、神奈川が担う～神奈川モデルとは～』

神奈川県知事 黒岩裕治氏

特別講演Ⅱ

『アベノミックスにおける中小企業の経営支援施策』

中小企業庁 経営支援部長 矢島敬雅氏

●ビジネス・イノベーション・アワード表彰

大賞 2件

富士プロダクト株式会社(神奈川県秦野市)

経営革新で下請けから自社製品メーカーへ転身

第十興産株式会社(神奈川県横浜市)

給油だけに頼らない多角的な事業展開で次世代のガソリンスタンドを実現

その他表彰

選考委員長賞1件 会長特別賞2件 優秀賞4件 特別賞10件 奨励賞 7件

千葉支部推薦の「港の朝市運営委員会」は奨励賞を受賞いたしました。今回の受賞のポイントは、官・公・民と一緒に地元をなんとか良くしていきたいという熱い情熱で「港の朝市」に取り組んでいる姿勢が選考委員に伝わり、町おこしの大きな原動力となると認められ、今後に大きな効果が期待された点です。また、中央の大手企業等の力を借りずに地元を中心として取り組んでいることで、より一層の仲間意識が芽生え、団結力が強化されている点も特徴ある取り組みの成果の一つです。

以上

一般社団法人としての千葉支部の新たな取組み

～第 58 回定時報告会 西村豊支部長 挨拶抜粋～

25年度は日本経営士会の一般社団法人への移行を受け、積極的に収益事業の強化に取り組んで参ります。その一環として、金融円滑化法の終了に伴う中小企業の経営支援事業にも力を注いで参ります。また、経営士補制度の復活を利用し、支部会員の増強あわせて注力して参ります。

～定時報告会 来賓挨拶 鶴岡義明副会長抜粋～

また、一般社団法人への移行にともない、公益社団法人時代の3000万円弱の資産を7～8年で償却し、実質的な利益団体となることを当面の目標といたします。各支部も収益を念頭に新たな活動が活発におこなわれることでしょうか。千葉支部の会員の皆様におかれては、全国で先陣を切って利益の出せる体制・体質づくりを期待いたします。



平成25年5月11日(土)、千葉県船橋市 船橋商工会議所にて執り行われました第58回の定時報告会での西村支部長の挨拶にありますように、現在、千葉支部では西村支部長、山田支副部長、鈴木副支部長、山下会員といった幹部の皆さんを中心に積極的な活動が展開されています。鶴岡副会長の期待通り、全国で先陣を切って利益の出せる体制・体質づくりを目指してまいります。

今回の支部報では、走り始めたこれらの取組みの一部についてご紹介させていただきます。

主な取り組み

- 株式会社 高品ハウジング様 社内研修会開催
- 港の朝一と PITTO 株式会社
- 神崎町の取組み
- 経営士補養成講座の開催
- 消費税転嫁対策施策普及委員の活動

株式会社高品ハウジング様 社員研修会実施

アパマンショップでおなじみの株式会社高品ハウジングの6回に渡る社員研修がスタートしました。

高品ハウジングの山中社長は、日本経営士会北関東支部千葉県会の時代から元会長の原弘行さんのクライアントで、お世話になった経緯があります。今年1月の千葉県経営者協会の賀詞交歓会で西村支部長らのご挨拶をさせて頂いたことがご縁で今回の社員研修会が実現しました。

西村支部長をはじめとする幹部のみなさんは、県会議員でもある山中社長、国會議員で民主党の奥野総一郎さんと維新の会の西田ゆずるさんらと会う機会を得ました。山中議員は、県内の中小企業の現状を憂い「千葉県の中小企業はもっと勉強しなければならない」という思いから、経営士会千葉支部に相談を持ちかけられました。さらに山中社長は、実績づくりの観点から、まずは、自分の会社(高品ハウジング)で社員研修を実施することで話が進みました。これを機に、山田副支部長を中心に高品ハウジングへの社員研修の提案が行われ、鈴木副支部長の提案が功を奏し、山中社長の了承を得、その後、具体的な内容に関して高品ハウジングの幹部との協議を経て全6回の研修カリキュラムが作成され、開催に至りました。

●研修内容および進捗状況

8月9日 第1回研修	「会社とは何か？」
講師 鈴木副支部長	コーディネータ 鶴岡副会長、山田副支部長、山下会員
8月26日 第2回研修	「誰に何を売るのか？」
講師 鈴木副支部長	コーディネータ 鶴岡副会長、山田副支部長、山下会員
9月12日 第3回研修<特別編>	「企業と人材育成」
講師 鈴木副支部長	出席者 山田副支部長、山下会員

第3回目の研修は、高品ハウジングの39期経営革新発表会で、千葉県庁の近くの菜の花会館で行われ、午前中、全社員の前での鈴木副支部長が講演を執り行った。講演内容に対し、山中社長から賛辞の言葉を頂戴することができました。

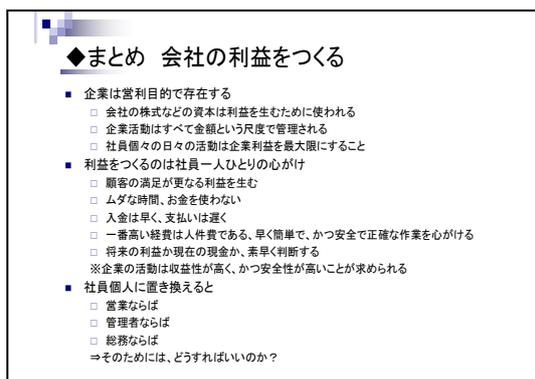
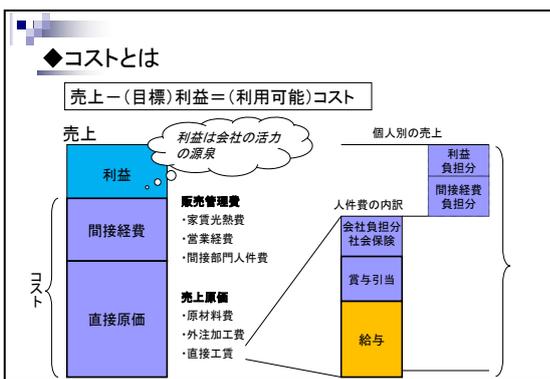
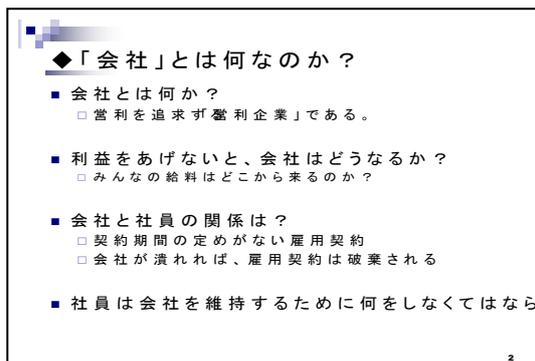
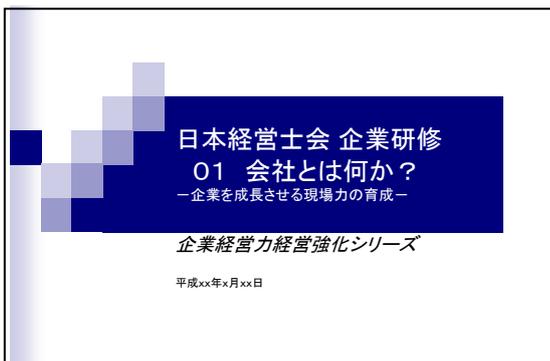
11月8日 第4回研修	「アイデアを生み出せ」
講師 大久保 会員	コーディネータ 鶴岡副会長、山田副支部長、山下会員
11月29日 第5回研修予定	「ビジネスをつくる」
講師 山下 会員	コーディネータ 山田副支部長、山下副支部長、大久保会員
12月4日 第6回研修予定	「ビジネスプランの発表」
講師 鶴岡本部副会長	コーディネータ 山田副支部長、山下副支部長、大久保会員

年内にすべてのカリキュラムが終了する予定です。本研修会の評価等に関しては、次号にて詳細に報告させていただきます。

●研修の進め方

まず講師が当日の研修内容の概要を講義。その後3グループ(各6名の18名)でワークショップとしての作業に入ります。第1回と第2回は最後の30分で各グループ討論の結果を発表。第4回目から第6回は時間の都合上、グループ討論の結果を次回開催時にプリントしたものを配布しました。

(第1回目研修資料抜粋)



研修風景



●受講生の感想

会社としての教育は必要に応じてスポット的に個々の実務研修を受けていたのが実態のようで、社員同士一緒にの教育はあまりなかったようです。他支店、他営業所間は言うまでもなく、同一拠点であっても部署が違えばお互いに顔と名前は知っているもののコミュニケーションもあまりないような状況のようでありさらに、ワークショップという形を取り入れた社員教育は初めてのようで、社員同士、新鮮さを感じ、お互いの業務内容を初めて認識した様子で、研修の質、成果に関してもたいへん講評です。

●これからの展開

高品ハウジング様の社員研修を通して千葉支部としてのノウハウの蓄積が出来たと思います。このノウハウをベースに横展開を図り、県内の企業へのアプローチを図っていきます。当然高品ハウジングの社長である山中議員からの紹介も促していきたいと考えています。 (千葉支部 山田副支部長)

以上

港の朝一と PITTO 株式会社

～ビジネスマッチングの実現に向けて～

昨年実施した「能楽とオペラの協演 in 夷隅」で、いすみ鉄道の鳥塚社長と千葉県経営士会のつながりは一層強固なものとなりました。今年も引き続き「能楽とオペラの協演」の開催を鳥塚社長と進めてきましたが橋岡九世さんのスケジュール確保が難しく、また、今年、NHK千葉放送局設立70周年でいすみ鉄道を題材としたドラマが作成されたこともあって、本年度の「能楽とオペラの協演は」残念ながら見送りとなりました。しかしながら、山田副支部長をはじめとした幹部の方々の努力が報われ、運営指導の依頼が舞い込みました。今年の5月から立ち上がった大原漁港の「港の朝市」をコンサルタントの立場から運営を指導してほしいという内容の依頼です。山田副支部長と山下会員は、6月の「港の朝市」に訪問する運びとなりました。

朝市の当日、「港の朝市」会場で運営委員長である中村市議会議員、いすみ市商工会出口会長を紹介して頂くことができ、これが縁となって今回のビジネス・イノベーション・アワード奨励賞受賞へとつながっていきます。

山田副支部長曰く、「“港の朝市”の現場は非常に活気づいていました。官・公・民が一体になり地元をなんとか良くしていきたいという熱い情熱がひしひしと伝わってきました。また、大手企業等の力を借りずに地元を中心として取り組んでいることで、より一層仲間意識が芽生え団結力が強化されている点は見逃せません。このことが選考委員に伝わり、奨励賞の受賞に至ったと思います。」

「港の朝市」風景



●PITTO 株式会社 福井啓介社長との出会い

一方、「経営革新」の受託の話として PITTO 株式会社様というお客様がいました。ゲーム用ソフトを開発販売している会社で動画の搬送システムの技術、課金システムを有しており、リアルな現場の状況をインターネット介して自宅に届け、インターネットテレビでショッピングすると言った仕組みをビジネスの軌道に乗せ、事業の多角化を図っていこうとしている会社です。

もしかしたら、“港の朝市”と PITTO 株式会社のインターネットテレビをマッチングさせることができれば大きなビジネスチャンスにつながるのでは？山田支部長と鈴木支部長は考えました。活気ある“港の朝市”をインターネットテレビで顧客にライブ放送することで、顧客はあたかも自分が今“港の朝市”で買い物をしている感覚なり、現地でまさに「今」販売されている新鮮な魚や野菜を購入することができるのです。

早速、PITTO 株式会社福井社長と“港の朝市”運営委員会に話を持ちかけました。福井社長はとても興味をもち、話はとんとん拍子に進みました。

現在の状況は、PITTO 株式会社がテスト期間として無償でインターネットテレビのインフラを提供し、実際に動かしてみても、大原漁港の“港の朝市”の様子を全国に発信しようと提案しています。

これを受け、港の朝市実行委員会では、どのような形でビジネスの可能性を実証実験で試していくかに関して検討が始まる予定です。

インターネットショッピングと地場産業のマッチングをベースとした新たなビジネスモデルの千葉支部としての展開。今後の進捗に大きな期待がかかります。追って、会員の皆様には進捗状況をお伝えしていきます。

以上

神崎町の取組み

神崎町の取組に関してお知らせします。

経営士会千葉支部と神崎町の出会いは、経営士会東京支部の長谷川正博会員より神崎町の島津信之議員を経営士会千葉支部の山下会員へ紹介して頂いたのがはじまりです。島津議員は、神崎町の新住民（四季の丘）住宅地域に住む方で、十名の議員の中のお一人です。

その紹介をきっかけに、経営士会本部の鶴岡副会長、千葉支部の西村支部長、山田副支部長等と面識が広がり、いくつかの取組みにつながり、現在に至ります。

現在、経営士会千葉支部では神崎町で「あらたに神崎町に設置される“道の駅”のコンサルテーション」「台湾の地方都市との姉妹提携」の2つの事柄をすすめております。

●あらたに神崎町に設置される“道の駅”のコンサルテーション

千葉県は観光立県でもあり「港の朝市」やこれに類する「道の駅」での物産展等、県下で数多くのビジネスチャンスがあります。まさに今、進展しようとしている神崎町のケースをご紹介します。

来年に予定されている圏央道の開通に伴い、神崎町がインターチェンジ近辺に「道の駅」を造る予定です。ここにもビジネスチャンスの可能性があります。

ビジネス・イノベーション・アワードには奨励賞を受賞したいすみ市だけでなく、神崎町の島津議員も招待されました。受賞式の会場ですみ市の中村市議と神崎町の島津町会議員の間では、神崎町がオープンを予定している「道の駅」には、是非ともすみ市の新鮮な海産物を仕入れ販売したいという会話がなされました。

千葉支部としてどうビジネスに結びつけるか、とても広がりのあるこのビジネスマッチングをどのように進めていくか。掘り方次第で大きな鉱脈となることを予感させてくれます。今後の進展に期待したいものです。

●台湾の地方都市との姉妹提携

地場産業活性化のため海外の都市との姉妹提携を提案すべく、神崎町の島津議員に経営士会台湾支部の劉さんを紹介しました。お二人は意気投合し「台湾の地方都市との姉妹提携」の話が動き出しました。

現時点では、議会で他の議員への説得までには至っておらず、町長と島津議員が積極的に説得活動をしている状況です。島津議員の旺盛な改革意欲はとどまらず攻勢をかけているのが現状です。実現するといいですね。東京支部の紹介がきっかけで台湾支部とも連携する。まさにグローバル時代にふさわしい展開だと思います。

以上

第1回 経営士補養成講座開講

平成24年度の千葉支部の退会者数は10名近くにのぼり、本年度の千葉支部の会員数は準会員1名を含め68名までに減少しました。高齢化、会員数の減少に歯止めがからない状況です。このような状況を少しでも改善していくため、千葉支部では第1回目となる経営士補養成講座を開催いたしました。

日時： 2013年9月7日、8日、14日、15日、16日の5日間

場所： (株)高品ハウジング本店 研修室（千葉県千葉市若葉区高品町1585-1）

内容および講師

グローバル人材能力のニーズ	大久保篤	会員
経営コンサルタントの基礎	鈴木伸一	会員
経営戦略	山田一	会員
財務分析・資金調達	関口恒	会員
マーケティング戦略	中野周行	会員
生産性改善・効率化	大久保篤	会員
人材活用戦略	熊坂清弘	会員
法律・その他	鈴木伸一	会員
ワークショップ	大久保篤	会員

開会のあいさつにはじまり、能力強化の自己評価、修了試験等を含め、本講座全体を通しての管理・進行は西村支部長が執り行いました。

研修風景



各講座に使用した資料は担当した会員の手作り資料です。協議を重ね、各人が時間をかけて作成しました。今回は第1回目の講座ということもあり準備に多くの時間を割かねばなりません。次回からは本資料の手直し程度で準備期間が大幅に短縮されるかと思えます。

(資料表紙例)



今回の講座には社会人のみならず、特別枠として学生の参加も募りました。厳しい就職活動に少しでも有利な資格習得に学生の関心も高かったようです。参加した学生さんたちの講座に対する評価も高く、後日、千葉支部の幹事会に出席いただき、情報交換を実施しました。千葉支部としては今後も「経営士補」の将来の候補生を育成していきたいと考えています。講座修了者にはポイント制を導入し、経営士補への道を開く予定です。また、今回講座に参加頂いた大学の教授陣からも興味を示していただいております、今後の展開が大いに期待される結果となりました。

(学生を対象にした募集案内)

御中

一般社団法人日本経営士会
千葉支部長西村豊

(本部) URL: <http://keieishi.com/>
(千葉支部) URL: <http://keieishi-chiba.org/>

経営士補養成講座、特別受講生の募集について

一般社団法人日本経営士会千葉支部では、千葉県内の大学・大学院に在籍される学生さんを対象に、今回に限り特別受講生としてお一人様5,000円(資料代のみ)で受講出来る事と致します。

一般受講者と同一日程で、同一のカリキュラムを受講されれば、一般社団法人日本経営士会より「経営士補養成講座修了証」を発行致します。

本講座修了の後、日本経営士会に入会され、本会が主催する研修会等へ規定数の参加により、「経営士補」の資格取得が可能となります。

平成27年3月以降卒業予定の学生さんにとっては、就職活動に少しでもお役に立てることと思います。この機会に是非とも受講をお勧めいたします。

参考資料：経営士補養成講座 配布チラシ（表面）

『経営士補』養成講座のご案内

一般社団法人 日本経営士会 千葉支部

こんなことを目指す方にお勧めの資格です！

- ★ 経営コンサルタントを目指す人！
- ★ 企業の経営者、後継者、幹部候補、管理者を目指す方！
- ★ 就職活動で有利な資格を持ちたい方！
- ★ マーケティングの知識を習得し、営業成績をあげたい方！
- ★ 財務諸表等を理解し、有望な投資先を見つける目を養いたい方！



日本経営士会は創立60年

一般社団法人 日本経営士会は、昭和26年9月25日通商産業大臣官邸において設立総会が開かれてから60有余年にわたり企業支援を続けています。日本最初のマネジメントコンサルタントと呼ばれる産能短大創設者の上野陽一先生を始めとする多くのコンサルタントが日本経営士会創設に携わっております。皆さまも時代とともに日本のマネジメントを革新しつづける日本経営士会で経営コンサルタントを目指してみませんか。

「経営士」「経営士補」とは

「経営士」とは、本会が付与する国内で最も歴史のある経営コンサルタントの称号です。「経営士」は経営・管理に関する専門知識を有するのみならず、危機や問題の根本要因を捉え、それを打開する創造的戦略を描き、実行する能力があると認定された経営支援のスペシャリストです。「経営士補」とは、経営士の補佐に相応しい専門知識を有するとともに経営士を目指し、さらに高度な専門知識の習得に努めている方の称号です。

受講申込み方法（裏面の受講申込書にご記入ください）

1. 申込方法 : メール又はFAXにて必要事項を記入の上、お申し込みください
2. 募集人員 : 先着20名(定員となり次第、申し込みを締め切らせていただきます)
3. 申込締切 : 2013年8月末日
4. 開講場所 : 学校法人秋葉学園 千葉情報経理専門学校 別館3F教室
千葉市中央区新宿 2-5-2 TEL:043-246-4211 事務局
(京成千葉線 千葉中央駅西口 徒歩1分 新宿公園通り沿い)
4. 開講期間 : 2013年9月7日、8日、14日、15日、16日の5日間
詳しくは、本会支部HP (<http://www.keieishi-chiba.org/>) でもご覧いただけます。

参考資料：経営士補養成講座 配布チラシ（裏面）

講習日程、プログラム

開催日	NO	講座	テーマ	時間	備考
開講にあたり					
9月7日(土)	1-(1)	A	開校式	1:00	13:00～14:00
	1-(2)	B	グローバル人材能力のニーズ	2:00	14:00～16:00
	1-(3)	C	経営コンサルタントの基礎	2:00	16:00～18:00
経営理論と専門知識					
9月8日(日)	2-(1)	D	経営戦略	3:00	09:00～12:00
	2-(2)	E	財務分析・資金調達	3:00	13:00～16:00
	2-(3)	F	マーケティング戦略	3:00	16:00～19:00
9月14日(土)	2-(4)	G	生産性改善・効率化	3:00	09:00～12:00
	2-(5)	H	人材活用戦略	3:00	13:00～16:00
	2-(6)	I	法律・その他	3:00	16:00～19:00
応用力、実践力の強化					
9月15日(日)	3-(1)	J	ワークショップ	5:00	09:00～15:00
	3-(2)	K	中小企業経営者の講義	2:00	15:00～17:00
終了試験と修了式 昼食会					
9月16日(月)	4-(1)	L	能力強化の自己評価	1:00	09:00～10:00
	4-(2)	M	終了試験	1:00	10:00～11:00
	4-(3)	N	修了式	1:00	11:00～12:00
	4-(4)		昼食会	1:00	12:15～13:15

受講料 : 50,000円(消費税、最終日のランチ代を含む)
 振込先 : 三井住友銀行 麹町支店 普通預金 7166277

口座名義 一般社団法人 日本経営士会

(※受講料は受講日当日までに、上記振込先にお振り込みください。)

○お問い合わせ先 (お問い合わせはメールにてお願い致します。)

一般社団法人 日本経営士会 千葉支部 研修事務局 鈴木、中野

メールアドレス: training@keieishi-chiba.org

FAX送付先 04-7133-1303

第1回経営士補養成講座・受講申込書

申込：2013年 月 日

フリガナ お名前	
ご住所	
電話番号 携帯番号	
メールアドレス	
勤務先名称 学校名	

(申込書にご記入頂いた個人情報に関しましては、本講座に関する諸手続きのみに使用させていただきます。)

消費税転嫁対策施策普及委員活動

千葉支部では船橋商工会議所の依頼により、船橋地区の約1000件の商工会議所の会員に対し、来年4月より施行される消費増税に関する訪問説明を行っています。幹事を中心に約10人のメンバーで一人当たり約100件を担当します。2月初旬までに完了予定です。

委託業務内容は、日本商工会議所で作成している「消費税率引き上げ対策 早わかりハンドブック」を各会員に配布し、中小企業・小規模事業者が、本年10月1日に施行された消費税転嫁対策特別措置法の活用等について、ポイントを絞り説明して回る委託のお仕事です。

「消費税率引き上げ対策 早わかりハンドブック」



会議・研修会・セミナー開催報告

9月 月例研修会実施報告

報告者：日本経営士会千葉支部 副支部長 山田一

開催日時：平成25年9月28日(土) 15:00~17:30

開催場所：船橋市中央公民館(第6会議室)

講師：鈴木 伸一 会員

出席者：大久保篤、鈴木辰星、堀越健太、西村豊、榎田國男、中嶋清介、八代穰
林久雄、山田一、中野周行 (講師含め計11名)

(今月の月例研修には、千葉支部で主宰した経営士補養成講座を無事に終了されました鈴木辰星氏堀越健太氏の両氏にも参加いただきました。)

近年、従来のフィーチャーフォンに代わり台頭してきたスマートフォンの便利な利用方法を、ソリューション・コンサルタントとして活躍されている千葉支部副支部長である鈴木伸一会員から説明を受けました。スマートフォンはビジネス形態を大きく変え、新たなビジネスチャンスを創り出しています。

主な内容

1. スマートフォンとは : 携帯電話(ガラケー、フューチャーフォン)、スマートフォン、タブレット型端末
2. スマートフォンとは : 電話とIP電話、インターネット、アプリ、スマホの弱点
3. スマートフォン、タブレット型端末のOSの種類 : BIG2、(Ios, androidOS),Late2,Future2
4. スマホと携帯電話のシェア
5. アプリの収益性比較
6. スマートフォン利用に必要なもの : 電話回線、Wi-Fi 無線回線 :
7. スマホ アプリ : iOS、iPhone アプリ/iPad アプリ、Android アプリ
8. 情報収集の方法 : 情報収集の媒体、ストック情報とフロー情報、個人的情報構築の必要性 ⇒ フロー情報のストック化、Evernote
9. 具体的なフロー情報の情報源:Gunosy、Antenna,Vingou,SmartNews,Flipboard,@nifty News
10. 現在のアプリ連携の設定
11. Pocket(英語版)の使い方
12. 12. 情報の保存と加工方法
13. Evernote の使い方
14. オンラインストレージ: Dropbox,Google Drive,SkayDrive,SugarSync,N Drive,Kdrive
15. 実際には何に使えるのか
16. 利用するのにあると便利な機器
17. おすすめの構成
18. 将来 : iPhone5S, iPhone5C,将来はウェアラブル

盛り沢山な内容で、幾種類もの機器を私たちの前で実演し、具体的な方法を細かく紹介して頂きました。今回の研修は、まさに現在の変化の激しい時代をどう情報と向かい合ってビジネスに活用していくかという内容でした。今回参加された皆さんは、とても興味深く鈴木会員の話に聴き入っていました。

研修風景



11月 月例研修会予定

顧客価値を高める品質活動の進め方

円安下で業績が回復する一方、設備投資や生産方法の変更やコストダウンをしたにもかかわらず業績が低迷している工場があります。顧客からは製品の外観や機能的な品質だけではなく、利便性や感性的な品質も要求し、製造側からみる品質とは一致しません。また、社会や環境の変化もあり、工場では「顧客価値を高める品質活動」が重要で、顧客価値を高めるには、自社固有の強みを組織能力に直結し、顧客が満足する価値を提供する仕組み、メカニズムを構築することが必要です。本研修会では「顧客価値を高める品質活動」に関し、講師である金子昌夫会員の豊富な経験をもとにわかりやすくお話していきます。

ふるって、ご参加ください。

記

日時： 2013年11月30日(土) 15:00～17:00

場所： 船橋市中央公民館 第一集会室

講師： 金子 昌夫 会員 (千葉支部)

受講料：無料

お申込・お問合せ：下記宛FAX(用紙は次頁)又はメールでお申込下さい

(社)日本経営士会千葉支部 副支部長 山田 一

TEL: 043-234-8154 FAX : 043-234-8154

E-mail: enshin@js4.so-net.ne.jp

9月 会員外向け MPP 研修実施報告

～千葉県経営者協会(千葉経協)会員外向け MPP 研修実施報告書～

報告者：日本経営士会千葉支部 幹事 中嶋 清介

開催日時：平成24年9月12日 15:00～18:00

開催場所：千葉県経営者会館研修室 千葉市中央区千葉港 4-3

参加者：会員外参加15名、会員3名、MPP登録リーダー3名

(MPP登録リーダー：塚本格宥(北日東支部茨城県会)、山田成(千葉支部)、中嶋清介(千葉支部))

研究したMPP： ケースコード 48-001-086

ケーステーマ「職場指導者に必要な新しい資質と人間管理能力」

本ケースへの取り組みは今回で5回目となるが、展開によっては、今のリーダーシップのあり方について、管理職クラスを教育する際の重要な教材になるものと考えます。

今回のMPP研修に当たっての意図したこと

- 1) 管理者・リーダーにとっての意思決定は常に最適であることが求められるが、MPPメソッドはそのため有効なツールであることをしめしたい。
- 2) 今回のケースはPM理論をメインに扱っているが、リーダー論を全体的に考えてもらえる糸口にした。

研修結果 (参加メンバーのMPP報告書とアンケートから)

- 1) MPPメソッドについては、異業種交流、他社の同クラスの人の意見を聞いたのは良かった。討議の中で意見を引き出す雰囲気良かったなどがあった。
- 2) ケーステーマについては、他社の自分と同じ管理職の様々な意見を聞いた。また、自己実現に向けて部下と併走する、部下に任せた仕事は最後まで遂行させ、そのチャレンジ精神の養成が必要である。やらされ感と新鮮な発言が聞いたのは良かった。
- 3) 問題点としては、討議の時間が不足、実務に戻ってどのように活かせるかわからない、持ち帰って社内での展開は難しい、ケースメソッドと意思決定の関連がまだよく解らない等があげられる。今後の展開の参考にしたい。
(マネジメントコンサル11・12号抜粋)



年末研修会／懇親会(12月) 出席連絡

(社)日本経営士会 千葉支部
総務担当 鈴木伸一 宛

Tel : 090-5446-2808

会員氏名 _____

Fax : 04-7133-1303 出席ご希望の方は12月10日までにご連絡願います。

出席を次の通り連絡します。(該当欄に出席は○印、欠席は×印をご記入下さい。)

	研修会／講演会	懇親会
平成23年12月15日 出席	参加・不参加	参加・不参加
月例／懇親会		